

授業科目名	開講年度	担当教員名	学年	開講期	単位数	必・選
ドイツ語	平成18年度	都築 正則	5	前期	1	選

[授業の目標] ドイツ語によるコミュニケーション能力を高め、積極的にドイツ語圏からの情報収集に対処できる能力を養う。ドイツ文化・政治の中心地ベルリンを扱った教科書を使用し、ベルリンの様々な面を学び、ドイツ文化に触れる手がかりとしたい。そして、ドイツ語圏の人々との友好を促進し、ドイツ文化への理解を深めることを目標とする。

[授業の内容] 下記授業内容はすべて学科・学習教育目標(A)、
 <視野>およびJABEE基準1(1)(a)に対応する。

第1週 Leitfaden zur deutschen Kommunikation (継続)
 Lektion 8 (1) 年間の目標、現在完了、分離動詞。
 第2週 Lektion 8 (2) 過去完了、未来、現在分詞、過去分詞。
 第3週 Lektion 8 (3) zu 不定詞、現在分詞、分詞構文、
 冠飾句。
 第4週 Lektion 9 (1) 話法の助動詞、分離・非分離動詞。
 第6週 Lektion 9 (2) 接続法第1式、間接話法。
 第7週 Lektion 9 (3) 接続法第2式、非現実話法。
 中間予備試験。
 第8週 前期中間試験

第9週 „Guten Tag, Berlin!“ (グーテン・ターク、
 ベルリン!)
 Lektion 1 Vorstellung 定動詞の位置。
 第10週 Lektion 2 Spaziergang in Berlin 不定冠詞と
 定冠詞。
 第11週 Lektion 3 Einkaufen 名詞の格変化。
 第12週 Lektion 4 Geburtstag 不規則動詞の人称変化。
 第13週 Lektion 5 Mori-Ogai-Museum in Berlin 命令形。
 第14週 Lektion 6 Im Restaurant 前置詞。
 第15週 復習、対話練習、前期末予備試験。

[この授業で習得する「知識・能力」]

発音

1. ドイツ語の単語はすべて声を出して読みとることができる。
2. 文、段落全体で力点を置く個所にアクセントを置き発話できる。
3. 発音記号が読めて、その単語も書ける。

品詞論

1. 直説法、命令法、接続法1式、2式それぞれ人称変化がきちんとと言える。
2. 名詞、不定冠詞、定冠詞、代名詞の格変化がきちんとと言える。
3. 再帰動詞、分離動詞の人称変化が言えて、使うことができる。
4. 現在完了、過去完了と過去との使い分けができる。
5. 話法の助動詞における基本的なニュアンスの違いを理解し、使える。

6. 接続法1式による要求話法と間接話法の用法を修得している。
7. 接続法2式の基本的な非現実話法を修得している。
8. 動作の受動と状態の受動の違いを修得している。

統語論

1. 動詞の正置、倒置、後置がきちんと区別できる。
2. 名詞の格変化につき、動詞との関連で理解している。
3. 単文・並列文・複文が区別できる
4. 枠構造の様々は型を理解している。

コミュニケーション手段としてのドイツ語

1. 挨拶、道を尋ねる、助けを求めるなどがドイツ語で出来る。
2. 自分の意見、履歴書、手紙、メールが書ける。
3. インターネットでドイツ語の情報を取り出して利用できる。
4. 相手の意見に対して、反論することができる。

[注意事項] 授業時間数の不足を補うために、前年度に引き続き、メールとインターネット活用する。補助教材などはホームページに掲載して復習のために活用することを期待する。

[あらかじめ要求される基礎知識の範囲] ドイツ語の基本的人称変化、動詞の三要素形、定動詞の位置などにつき一応の理解をすること。また、メール、インターネットが一応利用できること。

[レポート等] 理解を深めるため、随時、演習課題を与える。

教科書: 『グーテン・ターク、ベルリン!』 市川明、Helgard Hildebrandt, Friederike Carol 都文堂

[学業成績の評価方法および評価基準] 前期中間・前期末の試験の平均点で評価する。

[単位修得要件] 学業成績で60点以上を取得すること。

授業科目名	開講年度	担当教員名	学年	開講期	単位数	必・選
フランス語	平成18年度	内田 智秀	5	前期	1	選

[授業の目標]

最初4回の授業を前年度の教科書『新・東京 パリ, 初飛行』を使用し、文法事項を学習する。その後、その文法知識を活用して、『やさしく読めるフランス語新聞(2006年度版)』を中心に平易なフランス語の文章の読解に取り組む。前期はフランス語で書かれた日本のアニメ、マンガ、映画などの文化圏を中心に授業を進め、日本のサブカルチャーに対するフランス人の関心の高さを知らせよう。また CD、ビデオなどを活用しフランス語に慣れ親しみ、実際のコミュニケーションに対して積極的に挑戦できるようになることもめざす。

[授業の内容] すべての内容は学習・教育目標(A) <視野>

および JABEE 基準 1(1)(a)に対応する。

前期

- 第1週 文法事項(命令形、直説法単純未来)
- 第2週 文法事項(直説法複合過去、直説法半過去)
- 第3週 文法事項(関係代名詞、指示代名詞)
- 第4週 文法事項(比較級、最上級)
- 第5週 Le château dans le ciel (『天空の城ラピュタ』)
- 第6週 Le château dans le ciel (『天空の城ラピュタ』)
- 第7週 Le château dans le ciel (『天空の城ラピュタ』)
- 第8週 前期中間試験

- 第9週 Le manga en plein boum (『爆発的マンガブーム』)
- 第10週 Le manga en plein boum (『爆発的マンガブーム』)
- 第11週 Tezuka, «Le dieu du manga»
(『マンガの神さま』、手塚治虫)
- 第12週 Tezuka, «Le dieu du manga»
(『マンガの神さま』、手塚治虫)
- 第13週 Le plus jeune lauréat du Festival de Cannes
『誰も知らない』カンヌ最年少受賞者、柳楽優弥)
- 第14週 Le plus jeune lauréat du Festival de Cannes
『誰も知らない』カンヌ最年少受賞者、柳楽優弥)
- 第15週 Le plus jeune lauréat du Festival de Cannes
『誰も知らない』カンヌ最年少受賞者、柳楽優弥)

[この授業で習得する「知識・能力」]

- 1. 発音と綴り字の関係を理解する。
- 2. 基本的な動詞の活用ができ、それを用いて表現できる。
- 3. 自動詞、他動詞、代名動詞の相違を理解する。
- 4. 名詞、冠詞、形容詞の性・数による変化を理解し活用できる。
- 5. フランス語の文構造(単文、重文、複文)を理解する。
- 6. 否定文・疑問文を理解し、自分でも表現できる。
- 7. 命令・依頼の表現ができる。
- 8. 関係代名詞を理解し適用できる。
- 9. 文法的知識(解析能力)
- 10. 文法的知識(総合能力)
- 11. 実際の場面における上記事項の応用力

[注意事項] 仏和辞書を毎時間持参すること。

[あらかじめ要求される基礎知識の範囲] フランス語1の学習内容。

[レポート等] 理解を深めるため、演習課題を与える。

教科書: 『Lisons le Journal des Enfants 2006 ; やさしく読めるフランス語新聞(2006年度版)』, 瀧川好庸ほか編, (第三書房)
: 『新・東京 パリ, 初飛行』, 藤田裕二ほか著, (駿河台出版社) 昨年度のものを引き続き使う。

[学業成績の評価方法および評価基準]

前期中間試験・前期末試験の平均点を6割、課題を4割として百点法により総合して評価する。

[単位修得要件]

学業成績で60点以上を取得すること。

授業科目名	開講年度	担当教員名	学年	開講期	単位数	必・選
中国語	平成18年度	仲井 真喜子	5	前期	1	選

<p>[授業の目標]</p> <p>1.中国語 において学習した基本的文法項目を確実に理解し、実際の場面に即した会話の運用能力を習得する。</p> <p>2.ある程度まとまった文章の意味を理解し、それらを通じて文化・習俗などを総合的に理解する。</p>	
<p>[授業の内容]</p> <p>[授業の内容] すべての内容は学習・教育目標(A) <視野> および JABEE 基準 1(1)(a)に対応する。</p> <p>前期 中国語</p> <p>第1週 復習、概要、自己紹介</p> <p>第2週 二つの“了”、連動文</p> <p>第3週 進行を表す“在”</p> <p>第4週 “更”と“最”</p> <p>第5週 経験を表す“過”</p> <p>第6週 “了”の用法</p> <p>第7週 まとめ</p> <p>第8週 前期中間試験</p>	<p>第9週 存現文、強調、逆説</p> <p>第10週 進行、継続を表す“在”と“着”</p> <p>第11週 結果補語</p> <p>第12週 数量補語、程度補語</p> <p>第13週 常用の結果補語</p> <p>第14週 「物語」閲読</p> <p>第15週 まとめ</p>
<p>[この授業で習得する「知識・能力」]</p> <p>文法</p> <p>1. 主述述語文・二重目的語文が理解でき、運用できる。</p> <p>2. 現象文・処置文・兼語文が理解でき、運用できる。</p> <p>3. 結果補語・様態補語・可能補語が理解でき、運用できる。</p> <p>4. 助動詞“可以”“能”“会”“想”“要”が理解でき、運用できる。</p> <p>5. “了”“着”“過”のアスペクト表現が理解でき、運用できる。</p>	<p><会話></p> <p>学習した文法項目を使って、各場面設定での簡単な会話ができる。</p> <p><作文></p> <p>自分の考えを簡単な文に表現できる。</p> <p><読解></p> <p>まとまった文章の意味を理解できる。</p> <p><総合理解></p> <p>雑誌・新聞広告・漫画・歌などの副教材によって、文化・習俗を理解しようとする。発音</p> <p>1. 基本的な単語を見て発音することができる。</p> <p>簡単な会話を聞きとり理解できる。</p>
<p>[注意事項]</p>	
<p>[あらかじめ要求される基礎知識の範囲] ピンインと初級文法が理解できる。</p>	
<p>[レポート等]</p> <p>教科書：「話す中国語、北京篇1」董燕・遠藤光暁著、朝日出版社、 および配布プリント</p> <p>参考書：授業時、随時紹介する。</p>	
<p>[学業成績の評価方法および評価基準]</p> <p>試験（前期中間・前期末）の平均点を8割、口頭試験の結果を2割として100点法で評価する。</p> <p>[単位修得要件]</p> <p>学業成績で60点以上を取得すること。</p>	

授業科目名	開講年度	担当教員名	学年	開講期	単位数	必・選
英語 A	平成18年度	林 浩士	5	前期	1	選

[授業の目標] ニュース記事と写真を題材とする英文テキストに沿って英語表現を学習すると同時に、社会、経済、文化などに関する情報に広く目を向けて話題を蓄積し、技術者として必要なコミュニケーション能力を向上させることを目的とする。

[授業の内容] 全ての週の内容は、学習・教育目標(A)<視野>(C)<英語>およびJABEE基準1(1)(f)の項目に相当する

第1週 Introduction (ガイダンス: 効果的な学習の進め方)

第2週 Unit 1: Able 題材: パラリンピックの現状
語法: 受動態の用法

第3週 Unit 2: Rich 題材: チョコレート生産の歴史
語法: 比較 / 関係詞

第4週 Unit 3: Afraid 題材: 死刑制度の是非
語法: 関係詞 / 動名詞 / to不定詞

第5週 Unit 4: Tall 題材: 身長に関する研究
語法: 現在完了形 / 過去完了形 / 助動詞

第6週 Unit 5: Pure 題材: 水と環境
語法: 名詞節

第7週 Unit 6: Warm 題材: 地球温暖化
語法: 前置詞 / 接続詞

第8週 前半のまとめテスト(中間試験)

第9週 Unit 7: Talkative 題材: 言葉とコミュニケーション
語法: 副詞節

第10週 Unit 8: Hairy 題材: ファッションの社会学
語法: 現在完了形 / 過去完了形

第11週 Unit 9: Strong 題材: スポーツにおける女性の躍進
語法: 前置詞(位置関係、方向)

第12週 Unit 10: Harmful 題材: 昆虫と地球環境
語法: 加算・不可算 / 最上級

第13週 Unit 11: Merry 題材: クリスマスマつわる歴史
語法: S-V-O-Oの文をつくる動詞

第14週 Unit 12: Famous 題材: サッカーの歴史
語法: to不定詞 / 分詞

第15週 後半のまとめ

[この授業で習得すべき[知識・能力]]

- 各ユニットで取り上げられる英文記事の概要を理解できる。
(A)<視野>、C<英語>
- 各ユニットで取り上げられる英文記事を適切な語彙を選んで要約、または部分的にrewriteできる。
C<英語>
- 各ユニットの内容に関する英問に対して、適切な表現で答えることができる。
C<英語>

4. 各ユニットに出てくる単語・熟語の意味および慣用表現が理解できる。
C<英語>

5. 各ユニットに含まれる語法、英語表現のいくつかを応用して適切な英語表現ができる。
C<英語>

6. 既習の英文を、内容が伝わる程度に朗読できる。
C<英語>

[注意事項] 単位制を前提として、自主的学習成果を学力診断小テストなどで授業時に確認することがあるので、付属のCD-ROMを活用し計画的に自主学習を進めるよう努力すること。また、テキスト以外でも自ら進んで多くの英語に触れること。参考書「速読英単語」は一斉購入しないが、語彙増強を図りたい場合に積極的利用を推奨する。

[あらかじめ要求される基礎知識の範囲] 英語 ~ 英語 で身につけた英語運用能力および語彙

[レポート等] 授業内容と関連した課題、レポートを課すことがある。

[教科書] *Time to Train Yourself* (成美堂)

[参考書] 速読英単語<必修編> (増進会出版社)

[学業成績の評価方法および評価基準]

前期中間、前期末の2回の試験の平均点を70%、課題(レポート)・小テスト等の結果を30%とし、その合計点で評価する。ただし、前半(前期中間試験まで)の成績で60点に達していない学生には再試験を課し、再試験の成績が該当する試験の成績を上回った場合には、60点を上限としてその試験の成績を再試験の成績で置き換えるものとする。

[単位修得要件]

学業成績で60点以上を取得すること。

授業科目名	開講年度	担当教員名	学年	開講期	単位数	必・選
英語 B	平成18年度	中井 洋生	5	前期	1	選

[授業の目標]

4年間で学習した英語の知識・技能を活用し、世界で起きている様々な事柄について現地からのレポートを収録した教材を読むことにより、そこで使われている英語表現を学習すると同時に、今日の世界が抱えている問題に対しても理解を深めることを目標とする。

[授業の内容] すべての週の内容が、学習・教育目標(A) < 視野 >

[JABEE 基準 1(1)(a)] および (C) < 英語 > [JABEE 基準 1(1)(f)] の項目に相当する。

第1週 授業の概要

Immigration in the 21st Century

第2週 Immigration in the 21st Century

第3週 Breaking America's Dependency on Cars

第4週 Challenging a Mountain of Taboos

第5週 Amish Country Stepping Back in Time

第6週 The Christiania

第7週 The Past Is Not for Overcoming, but Accepting

第8週 中間試験

第9週 復習

第10週 Christian Orphanages for Tsunami Orphans

第11週 Conquest Could not Destroy Its Culture

第12週 Providing Empathetic Medical Care

第13週 Growing Old in Germany

第14週 A Long Way to Go HIV Issues in Zimbabwe

第15週 How a Scientific Mind Works in a Big Business World

[この授業で習得する「知識・能力」]

1. 学習した英文を聞いたり、読んだりして、その内容が理解できる。
2. 英文の内容に関する質問に簡単な英語で答えることができる

3. 教科書本文に出てきた英単語、熟語、構文の意味の理解およびその英語が書ける。
4. 教科書本文に出てきた文法事項が理解できる。

[注意事項]

授業時間はもちろん、それ以外の時間にも、自ら進んで多くの英語に触れ、計画的に自主学習を進めるよう努力すること。

[あらかじめ要求される基礎知識の範囲] 英語 ~ 英語 で身につけた英語運用能力および語彙。

[レポート等] 適宜、授業内容と関連した課題、レポートを与える。

教科書 : Reading in Focus World Affairs Today (桐原書店)

参考書 :

[学業成績の評価方法および評価基準] 筆記試験 (中間試験、期末試験) 70%、課題・レポート・小テスト 30% の割合で成績を評価する。ただし、前半の成績 (前期中間試験および課題・レポート・小テスト) が 60 点に達していない学生には再試験を課し、再試験の成績が該当する試験の成績を上回った場合には 60 点を上限として該当する試験の成績に置き換えるものとする。期末試験については再試験は行わない。

[単位修得要件] 与えられた課題レポートを全て提出し、学業成績で 60 点以上を取得すること。

授業科目名	開講年度	担当教員名	学年	開講期	単位数	必・選
ドイツ語	平成18年度	都築 正則	5	後期	1	選

[授業の目標] ドイツ語によるコミュニケーション能力を高め、積極的にドイツ語圏からの情報収集に対処できる能力を養う。ドイツ文化・政治の中心地ベルリンを扱った教科書を使用し、ベルリンの様々な面を学び、ドイツ文化に触れる手がかりとしたい。そして、ドイツ語圏の人々との友好を促進し、ドイツ文化への理解を深めることを目標とする。

[授業の内容] 下記授業内容はすべて学科・学習教育目標(A)、
<視野>およびJABEE基準1(1)(a)に対応する。

- 第1週 Lektion 7 (1) Theaterbesuch 話法の助動詞。
 第2週 L 7(2) Lektion 8 (1) Im Zoo 再帰動詞。
 第3週 L 8(2) Lektion 9 (1) Ausflug nach Potsdam
 現在完了。
 第4週 L 9(2) Lektion10 (1) Fahren wir nach Weimar
 形容詞の格変化
 第5週 L 10(2) Lektion 11 (1) Die Bundesregierung in
 Berlin 不定詞
 第6週 L 11(2) Lektion 12 (1) Weihnachten 関係代名詞。

- 第7週 Lektion 12 (2) 復習、受動態。
 第8週 後期中間試験
 第9週 L (3) Lektion 13 (1) Die Berliner Mauer 現在分詞。
 第10週 Lektion 13 (2) 間接疑問文。
 第11週 L 13(3) Lektion 14 (1) Wieder nach Haus
 接続法第2式。
 第12週 Lektion 14(2) 外交的接続法。
 第13週 L 14(3) Lektion 15 (1) Prenzlauer Berg Tour
 ユダヤ人墓地。
 第14週 Lektion 15 (2) ケーテ・コルヴィッツの銅像。
 第15週 Lektion 15 (3) フリードリヒスハイン公園、復習。

[この授業で習得する「知識・能力」]

発音

1. ドイツ語の単語はすべて声を出して読みとることができる。
2. 文、段落全体で力点を置く個所にアクセントを置き発話できる。
3. 発音記号が読めて、その単語も書ける。

品詞論

1. 直説法、命令法、接続法1式、2式それぞれ人称変化がきちんとと言える。
2. 名詞、不定冠詞、定冠詞、代名詞の格変化がきちんとと言える。
3. 再帰動詞、分離動詞の人称変化が言えて、使うことができる。
4. 現在完了、過去完了と過去との使い分けができる。
5. 話法の助動詞における基本的なニュアンスの違いを理解し、使える。

6. 接続法1式による要求話法と間接話法の用法を修得している。
7. 接続法2式の基本的な非現実話法を修得している。
8. 動作の受動と状態の受動の違いを修得している。

統語論

1. 動詞の正置、倒置、後置がきちんと区別できる。
2. 名詞の格変化につき、動詞との関連で理解している。
3. 単文・並列文・複文が区別できる
4. 枠構造の様々は型を理解している。

コミュニケーション手段としてのドイツ語

1. 挨拶、道を尋ねる、助けを求めるなどがドイツ語で出来る。
2. 自分の意見、履歴書、手紙、メールが書ける。
3. インターネットでドイツ語の情報を取り出して利用できる。
4. 相手の意見に対して、反論することができる。

[注意事項] 授業時間数の不足を補うために、前年度に引き続き、メールとインターネット活用する。補助教材などはホームページに掲載して復習のために活用することを期待する。

[あらかじめ要求される基礎知識の範囲] ドイツ語の基本的人称変化、動詞の三要素形、定動詞の位置などにつき一応の理解をすること。また、メール、インターネットが一応利用できること。

[レポート等] 理解を深めるため、随時、演習課題を与える。

教科書：『ゲーテン・トーク、ベルリン!』 市川明、Helgard Hildebrandt, Friederike Carol 都文堂

[学業成績の評価方法および評価基準] 後期中間試験・学年末試験の平均点で評価する。

[単位修得要件] 学業成績で60点以上を取得すること。

授業科目名	開講年度	担当教員名	学年	開講期	単位数	必・選
フランス語	平成18年度	内田 智秀	5	後期	1	選

[授業の目標] 前期同様、『やさしく読めるフランス語新聞(2006年度版)』を中心に平易なフランス語の文章の読解に取り組む。後期はフランスの政治、社会、文化、芸術などを取り上げ、フランスへの理解を深くする一方、フランスが現在抱える諸問題にも目を向けていく。また CD、ビデオなどを活用しフランス語に慣れ親しみ、実際のコミュニケーションに対して積極的に挑戦できるようになることもめざす。

[授業の内容] すべての内容は学習・教育目標(A) <視野> および JABEE 基準 1(1)(a)に対応する。

第1週 Paris, Les trios mousquetaires (A.デュマ『三銃士』)
 第2週 L'Alsace, La dernière classe (A.ドーデ『最後の授業』)
 第3週 La France fête ses trésors (共有遺産の日)
 第4週 La France fête ses trésors (共有遺産の日)
 第5週 @ = arobe, CD-Rom, Site (情報通信)
 第6週 La Galerie des Glaces (鏡の間)
 第7週 La Galerie des Glaces (鏡の間)
 第8週 後期中間試験

第9週 7 jours (ルーヴル分館、武器輸出国第3位)
 第10週 7 jours (週35時間労働法、アスベスト)
 第11週 7 jours (禁煙運動、シラク10年目突入)
 第12週 7 jours (教皇の車、動物愛護へ)
 第13週 Les expositions universelles (愛知万博)
 第14週 Les expositions universelles (愛知万博)
 第15週 Les expositions universelles (愛知万博)

[この授業で習得する「知識・能力」]

1. 発音と綴り字の関係を理解する。
2. 基本的な動詞の活用ができ、それを用いて表現できる。
3. 自動詞、他動詞、代名動詞の相違を理解する。
4. 名詞、冠詞、形容詞の性・数による変化を理解し活用できる。
5. フランス語の文構造(単文、重文、複文)を理解する。
6. 否定文・疑問文を理解し、自分でも表現できる。

7. 文法的知識(解析能力)。
8. 文法的知識(総合能力)。
9. 実際の場面における上記事項の応用力。
10. フランス文化、芸術、社会について理解できている。

[注意事項] 仏和辞書を毎時間持参すること。

[あらかじめ要求される基礎知識の範囲] フランス語1の学習内容。

[レポート等] 理解を深めるため、演習課題を与える。

教科書: 『Lisons le Journal des Enfants 2006 ; やさしく読めるフランス語新聞(2006年度版)』 瀧川好庸ほか編(第三書房)

参考書:

[学業成績の評価方法および評価基準]

前期中間試験・前期末試験の平均点を6割、課題を4割として百点法により総合して評価する。

[単位修得要件]

学業成績で60点以上を取得すること。

授業科目名	開講年度	担当教員名	学年	開講期	単位数	必・選
中国語	平成18年度	仲井 真喜子	5	後期	1	選

[授業の目標]

- 1.中国語 において学習した基本的文法項目を確実に理解し、実際の場面に即した会話の運用能力を習得する。
- 2.ある程度まとまった文章の意味を理解し、それらを通じて文化・習俗などを総合的に理解する。

[授業の内容]

[授業の内容] すべての内容は学習・教育目標(A) <視野> および JABEE 基準 1(1)(a)に対応する。

後期

- 第1週 方向補語
- 第2週 “把”構文
- 第3週 可能補語
- 第4週 “祝～”
- 第5週 常用の可能補語
- 第6週 「大都市こぼれ話」 閲読
- 第7週 まとめ
- 第8週 後期中間試験

- 第9週 使役文、兼語文
- 第10週 受身文
- 第11週 助動詞 “ 應該 ” “ 打算 ”
- 第12週 “ 讓我～ ”、同一疑問詞の呼応
- 第13週 様態補語
- 第14週 受身と “ 把 ” 構文
- 第15週 まとめ

[この授業で習得する「知識・能力」]

文法

1. 主述述語文・二重目的語文が理解でき、運用できる。
2. 現象文・処置文・兼語文が理解でき、運用できる。
3. 結果補語・様態補語・可能補語が理解でき、運用できる。
4. 助動詞 “ 可以 ” “ 能 ” “ 会 ” “ 想 ” “ 要 ” が理解でき、運用できる。
5. “ 了 ” “ 着 ” “ 過 ” のアスペクト表現が理解でき、運用できる。

<会話>

学習した文法項目を使って、各場面設定での簡単な会話ができる。

<作文>

自分の考えを簡単な文に表現できる。

<読解>

まとまった文章の意味を理解できる。

<総合理解>

雑誌・新聞広告・漫画・歌などの副教材によって、文化・習俗を理解しようとする。発音

1. 基本的な単語を見て発音することができる。

簡単な会話を聞きとり理解できる。

[注意事項]

[あらかじめ要求される基礎知識の範囲] ピンインと初級文法が理解できる。

[レポート等]

教科書：「話す中国語、北京篇1」董燕・遠藤光暁著、朝日出版社、 および配布プリント

参考書：授業時、随時紹介する。

[学業成績の評価方法および評価基準]

試験（後期中間・学年末）の平均点を8割、口頭試験の結果を2割として100点法で評価する。

[単位修得要件]

学業成績で60点以上を取得すること。

授業科目名	開講年度	担当教員名	学年	開講期	単位数	必・選
社会学	2006	平井 聡子	5全	後期		選

[授業の目標] 社会学の醍醐味を学び、日常生活で活用できる社会学的視点、柔軟な発想、批評眼を育てる。実例をできるだけ用いて楽しく且つ効率的に学び、生徒が興味をもてるように講義する。

[授業の内容] 全体の週において、教育目標(A)(視野)(意欲)と、JABEE (1)(a)項目に該当する内容を講義する。

第1週 社会学とは何か

第2週 社会学者と理論

第3週 社会学の方法論

第4週 カルチャー、民族、人種

第5週 階層、不平等、差別

第6週 非行・犯罪

第7週 メディアとコミュニケーション

第8週 中間試験

第9週 家族社会学、交際、結婚

第10週 体と心の社会学

第11週 ジェンダー

第12週 サブカルチャー

第13週 人の一生

第14週 グローバリゼーションと都市社会学

第15週 まとめ

[この授業で習得する「知識・能力」]

1. 「常識」から一步離れ、柔軟な発想、思考能力を身につける(社会学的視点)。それを可能にするための理論の種類と内容を習得する。
2. 多岐に渡る社会学の主要なフィールドの基礎観念を学ぶ。

3. 日常の身近なトピックを通して、社会学のバックボーンを理解する。

[注意事項] 英語の辞書を持参してください。授業は自己学習を前提とした規定の単位制に基づき授業を進める。課題や小テストを課し、それを成績に反映する。

[あらかじめ要求される基礎知識の範囲] 特になし

[レポート等] 授業中適宜に課題を与え、レポートを提出してもらおう。

教科書: なし

参考書: 適宜紹介

[学業成績の評価方法および評価基準]

後期中間・学年末の2回の試験の平均点を60%、課題(レポート)20%、小テストの結果を20%として評価する。後期中間・学年末試験ともに再試験は行わない。

[単位修得要件]

後期中間・学年末の2回の試験、課題(レポート)小テストにより、学業成績で60点以上を修得すること。

	18				()	

JIS	
<p>(1)(d)(1)</p> <p style="text-align: center;">(B) < > JABEE</p>	
<p style="text-align: center;">S.P.M S.L</p>	

--	--

<p style="text-align: center;">1 15</p> <p>B [JABEE (1)(d)(2)a]</p> <p>B [JABEE (1)(d)(2)d]</p> <p style="text-align: center;">:</p> <p style="text-align: center;">:</p> <p style="text-align: center;">:</p> <p style="text-align: center;">:</p>	<p style="text-align: center;">:</p> <p style="text-align: center;">:</p> <p style="text-align: center;">:</p>
---	--

3	
---	--

--

--

--

()

60	20	20
60		

--	--	--	--	--	--	--

<p>1 15 (B)</p> <p>JABEE (1) (d) (2) a B JABEE</p> <p>(1) (d) (2) b</p> <p>30</p> <p>C JABEE (1) (f)</p>	<p>Π O</p> <p>Π O</p> <p>C JABEE (1) (f)</p>
--	--

<p>10</p> <p>11</p> <p>12</p>	<p>10</p> <p>11</p> <p>12</p>
<p>1</p> <p>30</p>	
<p>100</p> <p>60</p>	

	18					

--

<p style="text-align: center;">A B</p> <p style="text-align: center;">C</p> <p>JABEE (1) (d) (1), (2) a), b), c), d), (e), (f), (g), (h)</p>	
--	--

<p>JABEE (1) (d) (2) b), c), d), (e), (h)</p>	<p style="text-align: center;">A JABEE (1) (g)</p> <p style="text-align: center;">B</p> <p style="text-align: center;">C JABEE (1) (f)</p>
--	--

--

--

--

--

60	10	30
60		

授業科目名	開講年度	担当教員名	学年	開講期	単位数	必・選
応用数学	平成 18 年度	出雲 敏彦	5	後期	1	選

[授業の目標] 情報化社会といわれる今日、統計学は各方面で意思決定のために用いられている。統計学は本来重要な数学の分野である。統計の基礎的な知識の習得と問題演習をはかっている。

[授業の内容] この授業の内容は全て学習・教育目標(B) < 基礎 > [JABEE 基準 1 の(1)(c)] に対応する。

「後期」

第 1 週 . データの整理と表現

第 2 週 . データと統計学 (1) : データと統計学の役割

第 3 週 . データと統計学 (2) : データの種類と性格、図示法

第 4 週 . データの特性値 : 代表値、散布度、平均値、分散の計算法

第 5 週 . 相関の理論 (1) : 2 変数のデータ解析

第 6 週 . 相関の理論 (2) : 回帰係数、相関係数

第 7 週 . 確率分布

第 8 週 . 中間試験

第 9 週 . 確率の概念

第 1 0 週 . 確率変数と確率分布

第 1 1 週 . 標本分布

第 1 2 週 . 標本分布 (1) : 確率の定義、確率の性質と計算

第 1 3 週 . 標本分布 : 条件付き確率、正規標本論、平均と分散

第 1 4 週 . 推定論 : 推定量の良さの判断基準、区間推定、点推定

第 1 5 週 . 検定論 : - 2 乗分布、t 分布、F 分布

[この授業で習得する「知識・能力」]

- 1 . 次の概念が理解できる : 代表値、最頻値、散布度、分散、標準偏差、相関係数、標本分布、推定値、カイ 2 乗分布、t 検定、条件付き確率、確率分布、分散と標準偏差、正規分布
- 2 . 表値の考えが理解できて、平均、中央値、最大値、最小値、最頻値がいえる。
- 3 . 布度、分散、標準偏差の概念が理解できて、計算できる
- 4 . 2 つの事象の相関、回帰曲線、相関係数が理解できて、計算できる
- 5 . 標本平均、標本分散、標本標準偏差、不偏分散の概念が理解できて、計算で求めることができる。

- 6 . 不偏推定量、有効推定量、一致推定量の定義が理解できる
- 7 . カイ 2 乗分布と t 分布の考えが理解できて、区間推定ができる。
- 8 . 簡単な事例で確率が計算できる。
- 9 . 分布、期待値の概念が理解できて、具体的な場合に計算でもとめることができる。
- 1 0 . 平均、分散、標準偏差の考えが理解できて具体的な事例で計算で求めることができる。
- 1 1 . 事象が正規分布に従うときに、確率が計算でもとめることができる。

[注意事項] 授業は、具体的なデータ例をもちいた実習を交えながら進めていく。統計計算は計算式自体はそれほど難しいものではないが、煩雑な繰り返し計算を行う場合が多く、従って、学生にはかなりの忍耐力が求められる。真摯な態度で問題に取り組んでほしい。

[あらかじめ要求される基礎知識の範囲] 基礎数学における順列・組合せ、二項定理および微分・積分の基礎的理論と演算について復習しておくこと

[レポート等] 講義の中でコンピュータを用いて解く演習問題を課すので各自必ずレポートとして提出すること。

教科書 : 「入門統計学」 橋本 智雄 (共立出版)

参考書 : 「統計学演習」 村上 正康他 (培風館)

[学業成績の評価方法及び評価基準]

中間試験、定期試験の成績 50% , レポート 50% で評価する。但し、定期試験を除き 60 点に達しない者に対しては、再試験または課題提出などを行い 60 点を上限とし再評価する。

[単位修得要件]

学業成績で 6 0 点以上を取得すること。

	18					

JABEE (1) (d) (2) a	
(A) JABEE (1) (a)	
	ELID

	18					

(A) JABEE (1) (a)	(B) JABEE (1) (d) (2) a)
(B) JABEE (1) (d) (2) a)	(B) JABEE (1)
(d) (2) a)	(d) (2) a) ELID
(B) JABEE (1)	(B) JABEE (1) (d) (2) a)
(B) JABEE (1) (d) (2) a)	

60
[] 60

--

<p>[JABEE 1(1)(c)]</p> <p style="text-align: right;">()</p>	<p style="text-align: center;">Airy</p>
--	---

	<p style="text-align: center;">Airy</p>
--	---

--

--

--

O C Z enki ew cz/Y. K Cheung

60

--

<p>(A) < > JABEE (1) (a) (A) < > JABEE (1) (b) (B) < > JABEE (1) (d) (2) a</p>	
--	--

	10 11 12
--	----------------

--

--

--

--

4	60	60	60
---	----	----	----

--

<p>JABEE (1) (d) (2) a</p> <p>()</p>	
---------------------------------------	--

	10
	11
	12
	13
	14
	15
	16
	17

--

--

--

--

4	60
60	

	1					

--

() JABEE 1(1)(d)(2)a	
--------------------------	--

() JABEE 1(1)(d)(2)a	
-----------------------	--

--

--

--

--

--

--

<p>(1) (d) (2) a</p> <p>()</p> <p>JABEE</p>	<p>10</p> <p>11</p> <p>12</p> <p>13</p> <p>14</p> <p>15</p> <p>FD</p>
--	---

--	--

--

--

--

JSME

<p>[]</p> <p>60</p>

--	--

--

--

--

4

--

<p>1(1)(d)(2a) [JABEE [JABEE 1(1)(a), (b)]</p> <p>(1) (2) (1) (2) (3)</p>	<p>PID</p>
---	------------

<p>1(1)(d)(2a) [JABEE</p>	<p>10 11. 12 13 14</p>
---------------------------	--

--

--

--

--

--

--

<p>1 15 (B)</p> <p>JABEE 1(1)(d)(2)(a)</p> <p>1</p> <p>(A) JABEE 1(1)(a)</p> <p>2 ()</p> <p>3 PERT</p> <p>4</p> <p>5</p> <p>6</p> <p>7</p> <p>8</p>	<p>9</p> <p>A < > JABEE 1(1)(a)</p> <p>A < > JABEE 1(1)()</p> <p>10</p> <p>11 3</p> <p>12 E(Value Engineering) (ustomer' s</p> <p>atisfaction</p> <p>13</p> <p>14 (T.P.S) T.P.S</p> <p>T.P.S IT</p> <p>15 _____</p> <p>(A) JABEE 1(1)(a)</p>
--	---

<p>1</p> <p>2</p> <p>3</p> <p>4</p> <p>5</p>	<p>6</p> <p>7 QC</p> <p>8 VE ISO CS</p> <p>9</p> <p>0 T.P.S</p>
--	---

--

--

--

--

[]	2	60
[]		

--

<p style="text-align: center;">1 15</p> <p>() [JABEE (1)(d)(2) a]</p> <p>C [JABEE 1(1)(f)]</p>	
---	--

<p>1</p> <p>2</p> <p>3</p> <p>4</p> <p>5</p>	
--	--

--

--

--

--

--